

宮城県保健環境センター
課題評価結果報告書

平成30年2月1日

宮城県保健環境センター評価委員会

目 次

1	宮城県保健環境センター評価委員会開催状況	1
2	評価委員	1
3	評価対象課題	1
4	評価方法	2
5	評価結果（事前評価）	3
6	評価結果（中間評価）	7

1 宮城県保健環境センター評価委員会開催状況

- (1) 平成29年度第1回評価委員会
平成29年11月7日(火) 午後1時30分から午後4時まで
宮城県保健環境センター大会議室
- (2) 平成29年度第2回評価委員会
平成30年1月25日(木) 午後1時30分から午後2時45分まで
宮城県保健環境センター大会議室

2 評価委員

	氏名	所属・職名
1	加藤 徹	NPO法人あぐりねっと21理事長
2	齋藤 紀行	東北生活文化大学短期大学部生活文化学科教授
3	白川 愛子	宮城大学食産業学部フードビジネス学科准教授
○ 4	多田 千佳	東北大学農学研究科環境システム生物学分野准教授
5	福島 美智子	石巻専修大学理工学部食環境学科教授
6	村田 功	東北大学大学院環境科学研究科准教授
◎ 7	山田 一裕	東北工業大学工学部環境エネルギー学科教授

50音順 ◎印は委員長 ○印は副委員長

3 評価対象課題

(事前評価)

整理番号	研究区分	担当部名	研究課題名	研究期間
1	プロジェクト研究	企画総務部・生活化学部 大気環境部・水環境部	県内における水銀の環境・食品・人体の汚染状況調査	H30-31
2	経常研究	微生物部	食品に由来する腸内細菌科細菌の薬剤耐性化に関する研究	H30-31
3	経常研究	生活化学部	高等植物による食中毒における原因物質検出法に関する研究	H30-31
4	経常研究	水環境部	東北地方太平洋沖地震後の県内井戸の水質状況調査	H30

(中間評価)

整理番号	研究区分	担当部名	研究課題名	研究期間
1	経常研究	大気環境部	宮城県におけるPM _{2.5} 中のレボグルコサンの解析	H28-30

4 評価方法

平成29年度第1回評価委員会では、事前配布された課題評価調書等に基づき、保健環境センターから課題に関する説明を受け、質疑応答を行った上で各評価委員が評価を行いました。

第2回評価委員会では、各評価委員の評価結果を元にとりまとめた課題評価結果報告書案の内容について審議しました。

なお、評価項目と総合評価基準は以下のとおりです。

評価項目

事前評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の重要性・必要性 ・ 計画の妥当性 ・ 成果及びその波及効果
中間評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の重要性・必要性 ・ 計画の妥当性及び進捗状況 ・ 成果及びその波及効果

項目別評価基準

評価	事前評価・中間評価
5	高い
4	やや高い
3	普通
2	やや低い
1	低い

総合評価基準

評価	事前評価	中間評価
AA	計画は極めて優れている	計画及び進捗状況は極めて優れている
A	計画は優れている	計画及び進捗状況は優れている
B	計画は妥当である	計画及び進捗状況は妥当である
C	計画の一部に課題がある	計画及び進捗状況の一部に課題がある
D	計画の見直しが必要である	計画の見直しが必要である

5 評価結果（事前評価）

整理番号	1	研究区分	プロジェクト研究	研究期間	平成30～31年度			
研究課題名	県内における水銀の環境・食品・人体の汚染状況調査							
評価結果	I 項目別評価							
	評価項目 \ 評価	5	4	3	2	1	平均	結果
	課題の重要性・必要性	4	3				4.6	5
	計画の妥当性		4	3			3.6	4
	成果及びその波及効果	2	4	1			4.1	4
	【項目別評価 評価基準】 5：高い 4：やや高い 3：普通 2：やや低い 1：低い							
	II 総合評価							
	\ 評価	AA	A	B	C	D	平均	結果
	総合評価		5	1	1		3.6	A
	【総合評価 評価基準】 AA：計画は極めて優れている A：計画は優れている B：計画は妥当である C：計画の一部に課題がある D：計画の見直しが必要である							
III 意見等								
<ul style="list-style-type: none"> ・一般環境調査においては、石炭火力発電所の稼働や設置計画がある仙台港周辺の調査について、本研究の中で可能な限り実施すること。また、その測定結果等について、関係市と積極的に情報交換を行い、県民への公開に備えること。 ・調査の際には、石炭の産地や水銀発生施設での対策状況、検体提供者の食生活情報を収集するなどして、研究期間、サンプリング条件を十分検討すること。 ・比較的实现が容易な方法で現状を把握しようとしていることは評価できるが、その制約により偏りが出る可能性を考慮し、研究期間内であっても状況に応じて測定の追加や変更が可能な体制で行うこと。 ・食産業振興の観点から汚染状況の公表が制限されるのではなく、適切かつ十分な説明に基づく正しい情報提供をすること。 ・汚染状況は時間経過と共に変化も予想されるため、定期的に課題設定する必要がある。 								

整理番号	2	研究区分	経常研究	研究期間	平成30～31年度			
研究課題名	食品に由来する腸内細菌科細菌の薬剤耐性化に関する研究							
評価結果	I 項目別評価							
	評価項目 \ 評価	5	4	3	2	1	平均	結果
	課題の重要性・必要性	5	2				4.7	5
	計画の妥当性		5	2			3.7	4
	成果及びその波及効果	2	3	2			4.0	4
	【項目別評価 評価基準】 5：高い 4：やや高い 3：普通 2：やや低い 1：低い							
	II 総合評価							
	総合評価 \ 評価	AA	A	B	C	D	平均	結果
	総合評価		4	3			3.6	A
	【総合評価 評価基準】 AA：計画は極めて優れている A：計画は優れている B：計画は妥当である C：計画の一部に課題がある D：計画の見直しが必要である							
III 意見等								
<ul style="list-style-type: none"> ・初年度の調査結果によっては、次年度の食品検体の種類や数の変更について検討すること。 ・今回の調査において耐性菌が検出された場合には、可能な限り遡り調査を行うこと。 ・本年度から行われている「市中における薬剤耐性腸内細菌科細菌の実態調査」とともに考察することで、より効果的な検討が期待できると思われる。現行課題との関連性やその研究成果の本研究への応用についても考慮して研究を進めること。 ・今回の計画だけでは、広域的なモニタリングシステムの構築等には十分でないと考えられるため、予算と従事時間の確保を考慮すること。 								

整理番号	3	研究区分	経常研究	研究期間	平成30～31年度			
研究課題名	高等植物による食中毒における原因物質検出法に関する研究							
評価結果	I 項目別評価							
	評価項目 \ 評価	5	4	3	2	1	平均	結果
	課題の重要性・必要性		6	1			3.9	4
	計画の妥当性		5	2			3.7	4
	成果及びその波及効果	1	3	3			3.7	4
	【項目別評価 評価基準】 5：高い 4：やや高い 3：普通 2：やや低い 1：低い							
	II 総合評価							
	総合評価 \ 評価	AA	A	B	C	D	平均	結果
	総合評価		3	3	1		3.3	B
	【総合評価 評価基準】 AA：計画は極めて優れている A：計画は優れている B：計画は妥当である C：計画の一部に課題がある D：計画の見直しが必要である							
III 意見等								
<ul style="list-style-type: none"> 調理食品は種類が多いため、分析方法の応用・適用条件に関する検討を行うこと。 食中毒を未然に防ぐための注意喚起を強化することも必須であるので、時季を捉えた広報活動への貢献も意識して成果をまとめること。 								

整理番号	4	研究区分	経常研究	研究期間	平成30年度			
研究課題名	東北地方太平洋沖地震後の県内井戸の水質状況調査							
評価結果	I 項目別評価							
	評価項目 \ 評価	5	4	3	2	1	平均	結果
	課題の重要性・必要性	1	4	2			3.9	4
	計画の妥当性		3	3	1		3.3	3
	成果及びその波及効果		3	4			3.4	3
	【項目別評価 評価基準】 5：高い 4：やや高い 3：普通 2：やや低い 1：低い							
	II 総合評価							
	総合評価 \ 評価	AA	A	B	C	D	平均	結果
	総合評価		1	4	2		2.9	B
	【総合評価 評価基準】 AA：計画は極めて優れている A：計画は優れている B：計画は妥当である C：計画の一部に課題がある D：計画の見直しが必要である							
III 意見等								
<ul style="list-style-type: none"> 地震から既に6年経過していること、地震とは別の要因で水質が変化している可能性もあることから、これらを考慮して慎重に分析すること。 井戸水の質・量は時間経過とともに変化していくことも予想されるので、定期的に課題設定することが必要である。 								

6 評価結果（中間評価）

整理番号	1	研究区分	経常研究	研究期間	平成28～30年度			
研究課題名	宮城県におけるPM _{2.5} 中のレボグルコサンの解析							
評価結果	I 項目別評価							
	評価項目 \ 評価	5	4	3	2	1	平均	結果
	課題の重要性・必要性	2	5				4.3	4
	計画の妥当性及び進捗状況		4	3			3.6	4
	成果及びその波及効果	2	5				4.3	4
	【項目別評価 評価基準】 5：高い 4：やや高い 3：普通 2：やや低い 1：低い							
	II 総合評価							
	総合評価 \ 評価	AA	A	B	C	D	平均	結果
	総合評価		4	3			3.6	A
	【総合評価 評価基準】 AA：計画及び進捗状況は極めて優れている A：計画及び進捗状況は優れている B：計画及び進捗状況は妥当である C：計画及び進捗状況の一部に課題がある D：計画の見直しが必要である							
III 意見等								
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、研究期間の延長についても検討すること。 ・有機炭素に占める水溶性有機炭素の割合結果で見られた誤差も発生することから、精度の向上や結果の扱い方について検討すること。 ・成果の公表の際には、県民に正しく伝わるようなまとめ方を行い、ホームページなどで速やかに公表すること。 								